

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujohto@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線323)
FAX63-5139



WEB版幸田町防災マップが完成しました。ご覧いただくには、幸田町ホームページ(<http://www.town.kota.lg.jp>)の右上にある「WEB版幸田町防災マップ」の文字をクリックしていただければ、見る事ができます。WEB版は地図の拡大縮小ができるだけでなく、避難所、避難場所、医療機関を指定すれば、場所を自動的に教えてくれます。(総務課安全対策室)



知って得するくらしの

知恵袋

アリの撃退方法

殺虫剤や粘着剤で退治

アリは、童話では働き者の代表として尊敬されています。しかし、普段の生活では、家の中に入って食品にたかたり、植木鉢に巣くって枯らしたりする困り者の一面をもっています。いつの間にか部屋に上がりこんで、寝ている乳幼児の口元に群がっていることもあります。

アリは砂糖やお菓子類、ハムなどの動物性食品が好物です。家の中にえさとなる食品を見つけると、あっとい間に侵入してきます。そして、えさ場と巣穴を往復し始めます。アリが行列を組めるのは、道しるべとして分泌物を出しているからです。この行列を分断すれば、家への侵入を防げます。

家の中への行列を見つけたら、まず侵入口に市販の有機リン酸系の殺虫剤を噴霧します。また、侵

入口に2センチ幅で市販の粘着剤を塗ったり、アルコールでアリの道をふき取ったりすると、分泌物が消えて、一時的ですが撃退できます。

この間に巣穴を探しましょう。巣穴を中心に半径5センチの範囲に市販の巣退治用の殺虫剤を散布します。周囲に市販の毒えさをまくと、より効果的です。さらに、市販の四塩化炭素液を巣穴に20から30ミリ流し込めば、四塩化炭素液が気化して巣穴の中のアリは全滅し、退治できます。

巣穴に流し込むのは簡単なアリの退治方法ですが、そばに植木などがあると根を痛める原因にもなるので、注意が必要です。植木鉢に巣くったときは、深いバケツなどの容器に水を入れ、植木鉢を浸します。30分くらいしてアリが浮いてきたら、水とともに流します。



【絵画】

成瀬 美里さん

みんなの作品展!



【陶芸】

近藤 ミサヲさん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「一肌脱ぐ」

ごんな意味?
ごんな意味!!

「親友のために一肌脱ぐ」といえば、身を入れて友人を助けること。肌脱ぎ姿になって尽力する「一肌脱ぐ」という言葉も、和服を着ることの少ない現代人には、ピンとこない表現になってしまいました。左右どちらかの袖を外すのが「片肌脱ぎ」、両袖とも外すのが「諸肌脱ぎ」です。「諸肌脱ぎでやる」といえば、全力をあげて事にあたる態度を示します。

「一肌脱ぐ」に近いのが、「一肩脱ぐ」で、「肩脱ぎ」は着物の上部を脱いで肩の部分を出すこと。前後2人で運ぶかごなどの一方を担ぐことから、「この一肩脱ぐ」は、他人に対する援助の一部を受け持つケースにも使われた表現です。しかし、かごのように人が担ぐ乗り物がまったく見られなくなった現代では、「一肩脱ぐ」は、「一肌脱ぐ」よりも一段と理解しにくい言葉になりました。



青春トークリレー

△
△
第148走者
△

いなよし みはる
稲吉 美晴さん

上六栗区在住 23歳 会社員
身長 158センチ B型
好きなタイプ やさしい人
好きな芸能人 aiko

こんにちは。私は、洋菓子を作るのが好きで、最近ではずっと興味があったパンを習い始めました。教室で作るパンは、材料に添加物などが一切入ってなく、生地から手ごねで作った、素材の味を生かしたとってもおいしいパンです。やりたいことはたくさんあってもなかなかそれを行動にうつすことができなかつたけど、今こうして自分で時間を作って、おいしいパンと出逢えたことがすごく楽しいし、幸せです。次は洋裁にチャレンジします。

これからも、たくさんの緑ときれいな花とおいしい食物がいっぱいの今よりもっとステキな幸田町をみんな目指していきましょう。



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



わんぱくだより

「某月某日」
〜大草保育園〜

お散歩日和の巻

大草保育園の周りは民家に囲まれて、車通りも激しく、散歩にも行けそうにありません。ところが、さすが緑の町幸田！ちよつと足を延ばせば自然いっぱい、素敵な場所がたくさんあり、毎日子どもたちと体感しております。年長ともなると、びつくりするほどの距離を歩きます。森の中に小道を発見すると、いてもたってもいられない子どもたち。疲れも忘れ、目をきらきらさせて歩きます。そ

こには保育園の中では味わえない、探究心をはじめとする子どもたちの感性を刺激する、木々のこもれび、小鳥のさえずり、落ち葉から顔をのぞかせる生き物たちがいつでも迎えてくれます。



お散歩は、強い体を作るだけでなく、子どもたちの心も育ててくれるようです。それは、アスファルト

の上を歩くよりも、田んぼのあぜ道、落ち葉の積もった森の小道を歩くほうが、効果があるようです。子どもたちの生き生き度がまったく違います。いつまでも、緑豊かな幸田町であってほしいと思います。そして、大草つ子がこの自然を守ってくれる大人になってくれることを、心から願っています。



ちよつと 編集者のひびき

今月号の裏表紙にはホテルの写真を掲載しました。写真は驚田で撮ったものですが、町内にはほかにもホテルを観られるスポットがたくさんあります。ホテルの幼虫は、水のきれいな環境でしか生きられません。住民の人たちみんなが、自然を大切に、川の水を汚したり、ごみなどを残さなかつたおかげで、今もなおホテルを観ることが出来ます。幸田町がいつまでもホテルが観られるきれいなまちであり続けることを願っています。(D)

先日早朝に、お墓掃除に行きました。お墓に、蜘蛛の巣がかかっていました。梅雨時で霧雨が降っており水滴に飾られた蜘蛛の巣はティアラのように光り輝いていました。早起きは三文の得という言葉が思い浮かびました。

もうすぐ楽しい夏休みです。まちの便利帖、マンスリーニュース、情報あらかるとの各コーナーは、小中学生向き夏休み情報が満載です。夏休みの計画作りに活用してください。(N)